

平成28年度第1回愛媛県宇和島構想区域

地域医療構想調整会議次第

日時：平成28年8月22日（月）

18：30～19：30

場所：南予地方局 7階 第1会議室

1 開 会

2 宇和島構想区域地域医療構想調整会議議長あいさつ

3 協議

(1) 平成29年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業について

(2) 病床機能報告制度の結果及び愛媛県の在宅医療の現状について

(3) 救急医療分科会について

(4) その他

4 閉 会

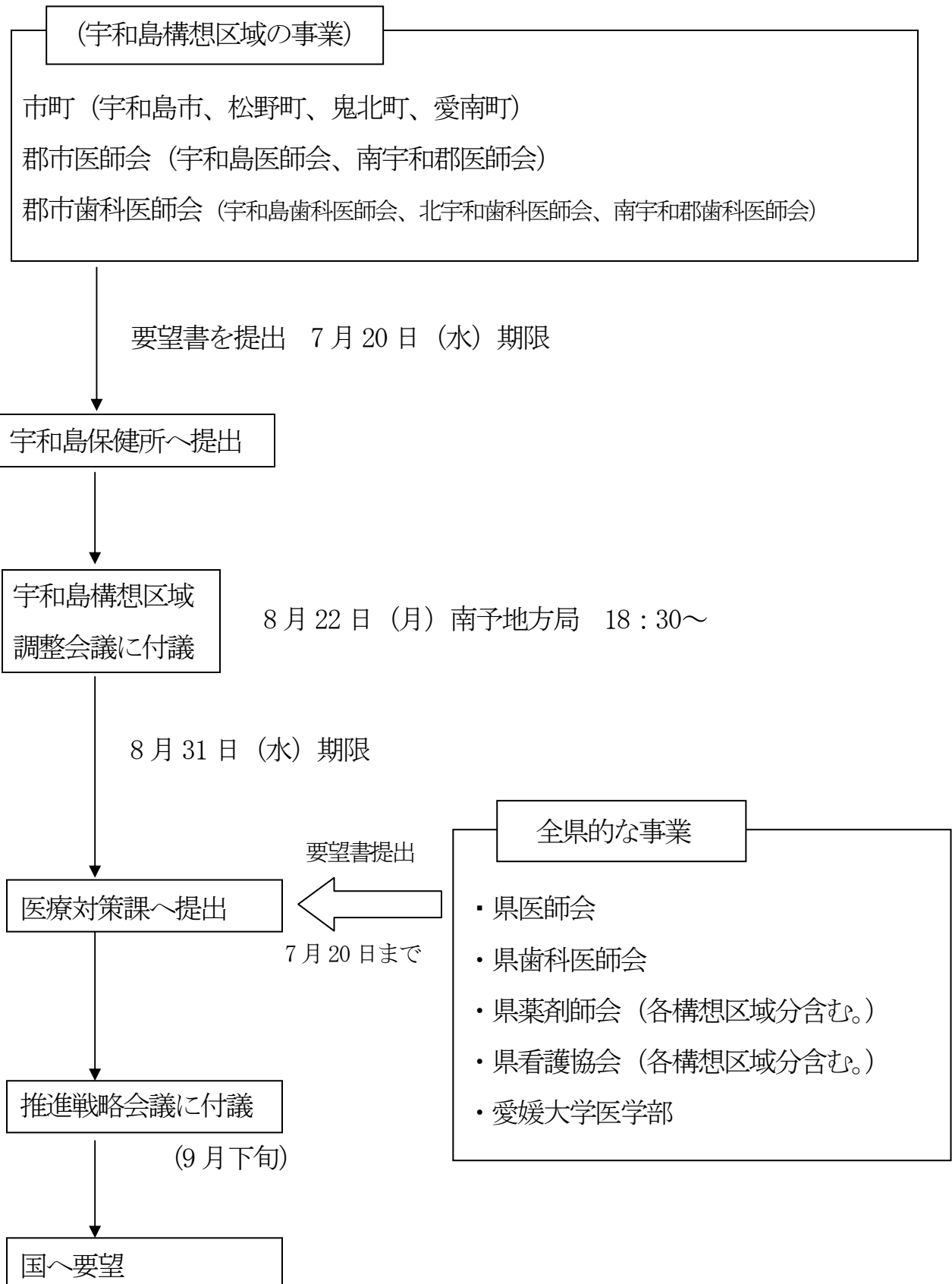
愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議委員

(任期：平成27年6月12日～平成29年6月11日)

所 属	団 体 等	役 職	氏 名	備 考
医師会	1 宇和島医師会	会長	友松 孝	
	2 南宇和郡医師会	会長	伊藤 孝徳	
歯科医師会	3 宇和島歯科医師会	会長	宇都宮 章	
	4 北宇和歯科医師会	会長	清岡 慶士	新任
	5 南宇和郡歯科医師会	会長	池田 敬洋	新任
薬剤師会	6 愛媛県薬剤師会宇和島支部	支部長	井上 貴博	
看護関係者	7 市立宇和島病院	看護部長	中橋 恵子	
介護関係者	8 指定居宅介護支援事業所 いこい	施設長	家田 基行	
医療機関	9 独立行政法人地域医療機能推進機構 宇和島病院	院長	渡部 昌平	
	10 市立宇和島病院	院長	梶原 伸介	
	11 医療法人沖繩徳洲会 宇和島徳洲会病院	院長	池田 佳広	
	12 鬼北町立北宇和病院	院長	吉田 幸生	
	13 旭川荘南愛媛病院	院長	岡部 健一	
	14 愛媛県立南宇和病院	院長	鶴岡 高志	
市 町 保険者	15 宇和島市	副市長	笹山 誠司	新任
	16 松野町	総務課長	八十島 温夫	新任
	17 鬼北町	副町長	芝田 正文	
	18 愛南町	副町長	岡田 敏弘	
保険者	19 全国健康保険協会愛媛支部	支部長	家高 眞信	新任
保健所	20 宇和島保健所	所長	廣瀬 浩美	

1 平成29年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業について

(1) 地域医療介護総合確保基金事業（29年度分）スケジュール



(2) 平成29年度宇和島構想区域地域医療介護総合確保基金（医療分）要望事業一覧（案）

優先順位	事業名	実施主体 (要望者)	事業費 (千円)	左のうち基金 充当額 (千円)	事業 期間	関連性	有効性	妥当性	緊急性	新規性	実行性	合計	事業 区分	事業 例 番号
						地域医療構 想に位置付 けられている 事業か。将 来の医療提 供体制にお ける役割は どうか。	地域医療構 想に掲げた 将来像に対 する効果・ 影響はどうか。 事業効果の 範囲が大き いか。	事業実施主 体が考える 機能（役割） が、構 想区域にと って妥当な ものか。能 力と機能が 釣り合っ ているか。	将来の医療 提供体制の 実現に向け 、早期着 手が望まれ る事業か。 早期に取り 組まない と影響が大 きい事業か。	新規の取り 組みか。 独創性があ るか。固定 経費化して いないか。	実施主体に おける事業 実施能力は どうか。事 業規模は適 切か。			
1	地域医療構想基幹病院における医師不足に対する診療支援事業	南宇和郡医師会	18,000	18,000	年間								3	26
2	市立宇和島病院の夜間救急の支援事業	宇和島医師会	8,784	8,784	年間								3	26
3	在宅緩和ケア推進モデル事業	宇和島医師会	4,500	4,500	年間								2	7
4	あいなん在宅安心システムの構築事業	南宇和郡医師会	4,365	4,365	年間								2	-
5	地域救急医療環境整備事業	市立宇和島病院	3,836	3,836	—								3	54
6	居宅等における医療の提供に関する環境整備事業	宇和島市立吉田病院	1,296	1,296	—								2	-
7	あいなん在宅安心システムの構築にかかる人件費	南宇和郡医師会	9,600	9,600	年間								2	-

※①事業区分ごとに評価し、それぞれ別様とすること。

②事業区分欄には、1：地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業（病床の機能分化・連携等）、2：居宅等における医療の提供に関する事業、3：医療従事者の確保に関する事業 のいずれかの番号を記載すること。

③番号欄には、厚生労働省が示した基金による事業例の中から該当するものの左端の番号を記入すること。事業例の中に該当するものがない場合は、空欄とすること。

平成29年度地域医療介護総合確保基金事業要望書（ソフト事業用）

要望者	法人名（施設名）	一般社団法人南宇和郡医師会				構想区域	宇和島	
	住所	愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲1988						
	担当者	所属	南宇和郡医師会		連絡先	TEL	0895-73-1198	FAX
	職名	会長	氏名	伊藤 孝徳		e-mail	minamiuwa@pure.ocn.ne.jp	
事業名	地域医療構想基幹病院における医師不足に対する診療支援事業							
実施主体	南宇和郡医師会							
事業区分	(大項目) I 病床機能の分化・連携 II 在宅医療の充実 III 医療従事者の確保・養成 (中項目) (1) 医師の地域偏在対策のための事業 (2) 6)							
事業概要	南宇和郡の地域医療構想の中心となる県立南宇和病院の医師不足を、医師会が診療応援で支援する。そのため、当医師会が、郡内の医療機関に協力を要請の上、相互調整の後に県立南宇和病院への医師の出務を行う。							
事業期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日	左記内訳	時期		事業内容			
	左記全期間		同上					
事業費	18,000,000円	左記内訳	費目	金額	年度別事業費	年度	金額	
			医師派遣費用	18,000,000		平成29年度	18,000,000	
事業効果	南宇和郡内の地域医療構想の中心となる県立南宇和病院の診療を支援することで、基幹病院として求められる診療体制を維持する。これにより、他地域への患者流出を防ぎ、ひいては宇和島医療圏域全体の救急医療体制崩壊を防ぐ。							
構想区域内における機能（役割）	【現状】		【将来（2025年）】		【具体的機能等】			
	高度急性期 回復期 在宅医療等	急性期 慢性期	高度急性期 回復期 在宅医療等	急性期 慢性期	県立南宇和病院は、南宇和郡内の地域医療構想の基幹病院であり、かつ、救急患者を受け入れる救急告示病院である。			
要望事業による将来の機能（役割）の実現性								
<p>本事業によって県立南宇和病院における医師不足を補い、診療体制を維持することができるので、県立南宇和病院の地域医療構想の基幹病院としての機能を保持することが可能である。</p>								
要望事業と地域医療構想との関連								
<p>県立南宇和病院が地域医療構想の基幹病院としても役割を果たすためには、現在の診療体制を維持する必要があり、絶対的な医師の人員不足を補うために本事業による当会会員の診療支援が不可欠である。</p>								
構想区域における将来の医療提供体制に対する効果・影響								
<p>【現状】 県立南宇和病院は、南宇和郡内の地域医療構想の基幹病院であるにも関わらず、医師不足や医師の偏在によって、十分な人員が確保できない状態が続いており、当会の支援なしに診療体制を維持するのは困難である。</p> <p>【将来（2025年）】 医師不足・医師偏在に対する抜本的な解決が計られない限り上記の状態は継続しているものと考えられるので、引き続き本事業によって県立南宇和病院の診療体制を維持し、地域医療構想の実現を図る。</p>								

平成29年度地域医療介護総合確保基金事業要望書（ソフト事業用）

要望者	法人名（施設名）	一般社団法人宇和島医師会				構想区域	宇和島		
	住所	宇和島市桜町1番50号							
	担当者	所属	宇和島医師会		連絡先	TEL	0895-22-0161	FAX	0895-25-8382
	職名	会長	氏名	友松 孝		e-mail	uishikai@eagle.ocn.ne.jp		
事業名	市立宇和島病院の夜間救急の支援								
実施主体	宇和島医師会								
事業区分	(大項目) ① 病床機能の分化・連携 II 在宅医療の充実 III 医療従事者の確保・養成 (中項目)								
事業概要	毎週月曜日から金曜日の午後7時30分から午後10時30分 市立宇和島病院救急外来を受け持つ。								
事業期間	1年間	左記内訳	時期		事業内容				
			平成29年4月1日～	平成30年3月31日	救急医療の支援				
事業費	8,784,000	左記内訳	費目		金額	年度別事業費	年度	金額	
			出張費	8,784,000	29年度		8,784,000		
事業効果									
構想区域内における機能（役割）	【現状】		【将来（2025年）】		【具体的機能等】				
	高度急性期 回復期 在宅医療等	急性期 慢性期	高度急性期 回復期 在宅医療等	急性期 慢性期	主に急性期の役割を果たす				
要望事業による将来の機能（役割）の実現性									
市立宇和島病院は南予一円、高知県より救急患者が搬送される。市立宇和島病院の先生方の労働環境は過酷なものになっている。開業医会員が救急外来の一部を担うことによって将来にわたっての市立宇和島病院の急性期医療を持続できる。									
要望事業と地域医療構想との関連									
市立宇和島病院は南予唯一の救命救急センターで高度急性期、急性期の病院としての大きな使命責任がある。勤務医師の疲弊、病院の消滅を防ぎ急性期医療を維持するため開業医師が支援する。									
構想区域における将来の医療提供体制に対する効果・影響									
【現状】 高度急性期、急性期が不足している。									
【将来（2025年）】 最も重要なのは、高度急性期、急性期医療が十分に維持できるかという事である。医師不足、看護師不足の南予では将来大きな問題になる。今後も救急医療に対し十分な対応が必要です。									

平成29年度地域医療介護総合確保基金事業要望書（ソフト事業用）

要望者	法人名（施設名）	一般社団法人宇和島医師会				構想区域	宇和島	
	住所	宇和島市桜町1番50号						
	担当者	所属	宇和島医師会		連絡先	TEL	0895-22-0161	FAX
	職名	会長	氏名	友松 孝		e-mail	uishikai@eagle.ocn.ne.jp	
事業名	在宅緩和ケア推進モデル事業							
実施主体	宇和島医師会、愛媛県在宅緩和ケア推進会議							
事業区分	(大項目) I 病床機能の分化・連携 ② 在宅医療の充実 III 医療従事者の確保・養成 (中項目)							
事業概要	定期的に多職種で集まって在宅緩和ケアについて学習、症例検討会、講師を招いての講演会を開催する。在宅での医療、看護、介護の人材の育成、在宅医療を推進していく。							
事業期間	1年間	左記内訳	時期		事業内容			
			平成29年4月1日～	平成30年3月31日	在宅医療の支援			
事業費	4,500,000	左記内訳	費目	金額	年度別事業費	年度	金額	
			人事育成費用	3,700,000		平成29年度	4,500,000	
			研修会費用	800,000				
事業効果	在宅医療の充実につながる。							
構想区域内における機能（役割）	【現状】		【将来（2025年）】		【具体的機能等】			
	高度急性期 回復期 在宅医療等	急性期 慢性期	高度急性期 回復期 在宅医療等	急性期 慢性期	在宅医療の役割を果たす。			
要望事業による将来の機能（役割）の実現性								
かかりつけ在宅医、訪問看護師、ケアマネージャー、調剤薬局との連携協力体制が構築できる。								
要望事業と地域医療構想との関連								
慢性期病床の患者さんを在宅に移してかかりつけ医の訪問診療、訪問看護を進める事により過剰な慢性期病床の削減を図る。								
構想区域における将来の医療提供体制に対する効果・影響								
【現状】 慢性期病床に入院している患者が多く、在宅医療はあまり進んでいない。								
【将来（2025年）】 今後、高齢者が増え、病気になる人、亡くなる人が増えてくる。対応できる病床数は限られており、それに対応できる在宅医療を進めてい								

平成 29 年度地域医療介護総合確保基金事業要望書（ハード事業用）

事業名	あいなん在宅安心システムの構築
-----	-----------------

計画年度	平成 29 年度
------	----------

開設者名	施設名	所在地
南宇和郡医師会	老健なんぐん館訪問看護ステーション	愛媛県南宇和郡愛南町深泥 703-2

1. 医療施設の概要

許可病床数（平成 年 月 日現在）							
一般	療養病床	精神	感染症	結核	計	（うち ICU）	（うち CCU）
床	床	床	床	床	床	床	床
標 榜 診 療 科 名							
内科・心療内科・精神科・神経科・呼吸器科・消化器科・循環器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚泌尿器科・性病科・こう門科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・気管食道科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・その他（ ）							
一日平均外来患者数		名（平成 年 4 月 1 日～平成 年 3 月 31 日）					
一日平均入院患者数		名（平成 年 4 月 1 日～平成 年 3 月 31 日）					
（今回の施設整備、設備整備またはシステム導入の経緯）							
<p>南宇和郡には、人員確保の困難及び経営的不安から、24 時間訪問介護を行う施設が存在しない。そこで、本事業により 24 時間訪問介護に代替するシステムを構築し、郡内の在宅療養者に適切な介護を提供する。</p> <p>具体的には、本事業は、在宅療養者がテレビ電話システムを介して、療養担当者と顔を合わせて会話することができる体制を整えるものである。担当者は、症状を確認の上、必要に応じて担当者を派遣することができる。このような 24 時間体制かつワンタッチで利用できるシステムを提供することにより、施設を建設するより比較的軽微な費用で、在宅療養者が見守られているという安心を持てる体制を作ることができる。</p>							

2. 整備事業の概要

<p>NTT のネットワークシステムを利用し、老健なんぐん館訪問看護ステーションと在宅療養者の間をテレビ電話の専用回線で結ぶ。テレビ電話機は、回線の「入」「切」、操作がワンタッチで簡単にできる専用機（みまもり安心パック）を利用する。</p> <p>在宅療養者は 24 時間いつでも担当者と回線を通じて話すことが可能であり、必要があればいつでも担当者が駆けつけることが可能となる。これにより、24 時間在宅介護施設の代替を行う。</p>

3. 今後の構想（未確定のもので可）

<p>今回は、訪問看護利用者を対象に検討するが、いずれは郡内全ての在宅療養者に対象を拡大し、24 時間訪問介護看護施設の代替を行いたい。</p>
--

※施設・設備の別に応じて別紙事業計画書を添付すること。

見積書、概要図（ネットワーク図）、その他参考資料を適宜添付し、施設毎に作成のこと。

(別紙)

事業計画書

(設 備)

補助事業者名	南宇和郡医師会
病院名	南宇和郡医師会

品 目	数量	製造会社	規格・型式	税抜定価	税込見積額	用途	理由
				円	円		
24ポートGIGAスイッチ	1	日本HP	HP1820-24G	54,000	46,440	なんぐん館施設内用	
8ポートGIGAスイッチ	2	日本HP	HP1820-8G	54,000	46,440	なんぐん館施設内用	
無線アクセスポイント	2	ヤマハ	WLX202	76,000	64,800	なんぐん館施設内用	
PoEインジェクター	2	エレコム	EIB-UG01-PF	15,200	14,040	無線アクセスポイント電源供給用	
Cat-5eケーブル (屋内用)	230m	日本製線	0.5-4P NSEDT	14,950	12,420	なんぐん館施設内用	
Cat-5eケーブル (屋外用)	80m	日本製線	0.5-4P NSEDT LAP	15,200	14,774	なんぐん館施設内用	
施設内配線工事費	1			240,000	216,000	なんぐん館施設内用	
施設内機器設定費	1			120,000	108,000	なんぐん館施設内用	
施設内機器設置調整費	1			90,000	75,600	なんぐん館施設内用	
光BOX+ (Livytalk)	2	NTT	Webカメラ、専用モニター(20インチ)、光BOXのセット	57,162	61,735	なんぐん館用	
同上機器設定工事費	2			40,000	43,200	なんぐん館用	
タブレットPC	2	NEC	TE510/BAL	67,600	64,800	なんぐん館用	
タブレットPCインストール費	2			8,000	8,640	なんぐん館用	
みまもり電話パック	60	NTT	Webカメラ、専用モニター(9インチ)、光BOXのセット	2,332,800	2,519,424	利用者宅用	
同上機器設定工事費	60			990,000	1,069,200	利用者宅用	
合 計				4,174,912	4,365,513		

平成 29 年度地域医療介護総合確保基金事業要望書（ハード事業用）

事業名	地域救急医療環境整備事業
-----	--------------

計画年度	平成 29 年度
------	----------

開設者名	施設名	所在地
宇和島市長 石橋寛久	市立宇和島病院	宇和島市御殿町 1 - 1

1. 医療施設の概要

許可病床数（平成 年 月 日現在）							
一般	療養病床	精神	感染症	結核	計	（うち ICU）	（うち CCU）
426 床	床	床	5 床	4 床	435 床	4 床	2 床

標榜診療科名

内科・心療内科・精神科・神経科・呼吸器科・消化器科・循環器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚泌尿器科・性病科・こう門科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・気管食道科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・その他（胃腸内科、肝臓内科、血液内科、糖尿病内科、内分泌内科、肝臓・胆のう・膵臓外科、消化器外科、乳腺外科、頭頸部外科、肛門外科、脳・血管外科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科）

一日平均外来患者数 1,061.3 名（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

一日平均入院患者数 405.1 名（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

（今回の施設整備、設備整備またはシステム導入の経緯）

二次救急、三次救急の救急医療における医師等の負担が増大していることから、患者の状態により、急性期病院から回復期病院へと円滑に搬送するため搬送車両を購入し、速やかに搬送することによって、急性期病院としての機能を十分に発揮、維持することができる。

2. 整備事業の概要

二次救急、三次救急での受け入れ後、病状が安定した患者の受け皿となる医療機関等への搬送に際し、円滑な搬送体制を確保するため、搬送用車両を購入するもの。

3. 今後の構想（未確定のもので可）

急性期医療機関と回復期、慢性期医療機関との円滑な搬送体制、連携をとることで、患者にあった医療が提供でき、急性期医療機関としての機能を十分に発揮、維持することができる。

※施設・設備の別に応じて別紙事業計画書を添付すること。

見積書、概要図（ネットワーク図）、その他参考資料を適宜添付し、施設毎に作成のこと。

(別紙)

事業計画書
(設備)

補助事業者名 市立宇和島病院
病院名 市立宇和島病院

品目	数量	製造会社	規格・型式	税抜定価	税込見積額	用途	理由
車両	1	日産自動車	NV350キャラバンM2ガソリン5AT (非課税)	3,719,857	3,835,349	患者搬送用車両	ストレッチャーを必要とした患者の搬送に必要なため
			諸費用 (非課税)	70,240			
			諸費用 (課税)	41,900			
合計				3,831,997	3,835,349		

平成 29 年度地域医療介護総合確保基金事業要望書（ハード事業用）

事業名	居宅等における医療の提供に関する環境整備事業
-----	------------------------

計画年度	平成 29 年度
------	----------

開設者名	施設名	所在地
宇和島市長 石橋寛久	宇和島市立吉田病院	宇和島市吉田町北小路甲 217

1. 医療施設の概要

許可病床数（平成 年 月 日現在）							
一般	療養病床	精神	感染症	結核	計	（うち ICU）	（うち CCU）
96 床	床	床	床	床	144 床	床	床
標 榜 診 療 科 名							
内科・心療内科・精神科・神経科・呼吸器科・消化器科・循環器科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚泌尿器科・性病科・こう門科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・気管食道科・リハビリテーション科・放射線科・歯科・その他（麻酔科）							
一日平均外来患者数		145.1 名（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）					
一日平均入院患者数		77.0 名（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）					
（今回の施設整備、設備整備またはシステム導入の経緯） 現在、当院では訪問診療、訪問リハビリの充実等を実施しており、車両等の環境整備を行うため、軽自動車を購入するもの。							

2. 整備事業の概要

訪問診療、訪問リハビリの際に使用する軽自動車の購入。

3. 今後の構想（未確定のもので可）

山間部や海沿いにある住宅において、機動性や天候等に左右されない運動性をもつ軽自動車を購入、活用することで、充実、安定した訪問診療、訪問リハビリを実施することができる。

※施設・設備の別に応じて別紙事業計画書を添付すること。

見積書、概要図（ネットワーク図）、その他参考資料を適宜添付し、施設毎に作成のこと。

(別紙)

事業計画書
(設備)

補助事業者名 宇和島市立吉田病院
病院名 宇和島市立吉田病院

品目	数量	製造会社	規格・型式	税抜定価	税込見積額	用途	理由
軽自動車	1	本田技研工業株式会社	排気量660cc以下	円 1,200,000	円 1,296,000	訪問診療用	訪問診療、訪問リハビリ時、職員移動用
合計				1,200,000	1,296,000		

平成29年度地域医療介護総合確保基金事業要望書（ソフト事業用）

要望者	法人名（施設名）	一般社団法人南宇和郡医師会				構想区域	宇和島	
	住所	愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲1988						
	担当者	所属	南宇和郡医師会		連絡先	TEL	0895-73-1198	FAX
	職名	会長	氏名	伊藤 孝徳		e-mail	minamiuwa@pure.ocn.ne.jp	
事業名	あいなん在宅あんしんシステムの構築にかかる人件費							
実施主体	南宇和郡医師会							
事業区分	(大項目) I 病床機能の分化・連携 ② 在宅医療の充実 III 医療従事者の確保・養成 (中項目) (1) 在宅医療を支える体制整備等 (7)							
事業概要	ハード事業として要望している、在宅療養者と担当者をテレビ電話システムで繋ぐ「あいなん在宅あんしんシステム」の運用のために必要な、訪問看護ステーションの夜間担当要員の人件費。							
事業期間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日	左記内訳	時期	事業内容				
	左記全期間		同上					
事業費	9,600,000円	左記内訳	費目	金額	年度別事業費	年度	金額	
			人件費 (月額20万円×4人×12か月)	9,600,000		平成29年度	9,600,000	
事業効果	人員確保の困難、経営的不安から整備が困難な24時間在宅医療介護に代替するシステムを整備し、郡内の在宅療養者が受ける医療介護の質を向上させる。							
構想区域内における機能（役割）	【現状】		【将来（2025年）】		【具体的機能等】			
	高度急性期 回復期 在宅医療等	急性期 慢性期	高度急性期 回復期 在宅医療等	急性期 慢性期	なんぐん館訪問看護ステーションにオペレーションセンターを設置し、在宅療養者と担当者を繋ぐ24時間テレビ電話システムを構築する。			
要望事業による将来の機能（役割）の実現性								
当面は訪問看護利用者を対象にシステムを稼働させるが、将来的には郡内の在宅療養者全てを対象を拡大することで、施設整備に比べれば安価な費用で、24時間医療介護看制度を実現することができる。								
要望事業と地域医療構想との関連								
本事業を地域医療構想に組み込み、在宅療養者に充実した医療介護を提供する。								
構想区域における将来の医療提供体制に対する効果・影響								
【現状】 南宇和郡内には、人員確保の困難、経営的不安から、24時間訪問介護看護を行う施設が存在していない。								
【将来（2025年）】 南宇和郡全体の在宅療養者が、本事業によって整備された「愛南在宅あんしんシステム」を利用できるようにし、24時間在宅介護施設に代替するシステムとして、在宅療養者が不安なく過ごせる体制を整える。								

2 病床機能報告制度の結果

(1) 二次医療圏別の状況

【2015年7月1日時点】

(単位：床)

二次医療圏	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
宇摩圏域	1,157	10	452	184	473	38
新居浜・西条圏域	3,108	44	1,626	205	949	284
今治圏域	2,376	30	1,372	256	687	31
松山圏域	9,043	2,110	3,034	941	2,750	208
八幡浜・大洲圏域	1,967	0	1,052	198	717	0
宇和島圏域	2,085	20	1,059	279	586	141

【2014年7月1日時点】

(単位：床)

二次医療圏	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
宇摩圏域	1,244	10	586	86	526	36
新居浜・西条圏域	3,126	10	1,821	146	947	202
今治圏域	2,378	17	1,432	255	674	0
松山圏域	9,060	2,136	2,859	895	3,034	136
八幡浜・大洲圏域	1,829	0	927	203	602	97
宇和島圏域	2,110	20	1,219	198	591	82

(2) 愛媛県地域医療構想における必要病床数

【2025年における必要病床数推計値】

(単位：床)

構想区域	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
宇摩	879	51	317	294	217
新居浜・西条	2,347	196	826	677	648
今治	1,939	119	682	708	430
松山	6,679	781	1,995	2067	1,836
八幡浜・大洲	1,681	59	486	693	443
宇和島	1,297	120	418	454	305

(3) 宇和島圏域の状況

【病棟単位の概況（病院）】

①医療機能

	集計病棟数	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等
①2015年(平成27)年7月1日時点の機能	38	1 (2.6%)	21 (55.3%)	4 (10.5%)	10 (26.3%)	2 (5.3%)
②6年が経過した日における病棟機能の予定	38	1 (2.6%)	21 (55.3%)	5 (13.2%)	10 (26.3%)	1 (2.6%)
③2025(平成37)年7月1日時点の機能(任意)	38	1 (2.6%)	11 (28.9%)	0 (0.0%)	3 (7.9%)	23 (60.5%)

②許可病床数・稼働病床数

		集計病棟数	病床数		
			合計	平均	最大
①一般病床	許可病床数	32	1,477	46.2	96
	稼働病床数	30	1,261	42.0	60
	非稼働病床数	2	216	-	55
②療養病床	許可病床数	6	288	48.0	60
	稼働病床数	6	278	46.3	58
	非稼働病床数	0	10	-	8

【病棟単位の概況（有床診療所）】

①医療機能

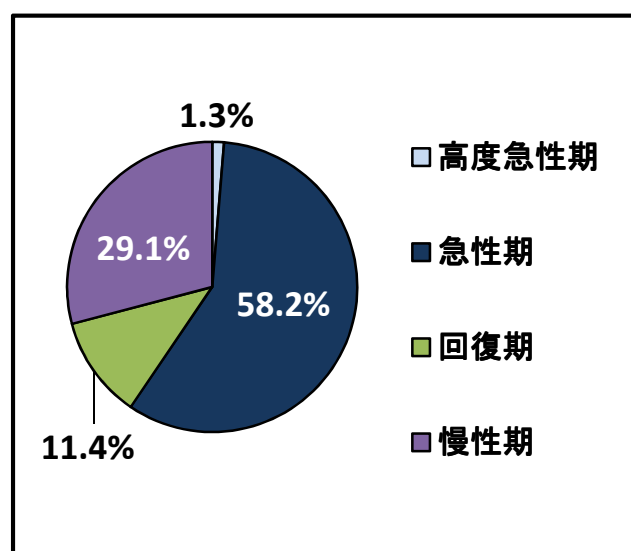
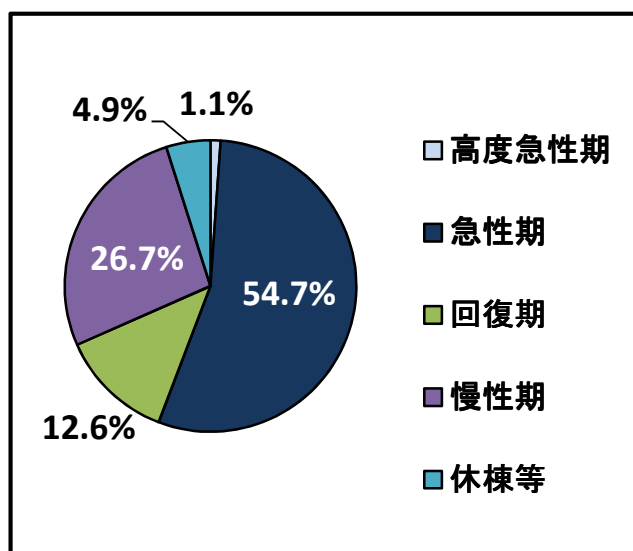
	集計病棟数	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等
①2015年(平成27)年7月1日時点の機能	18	0 (0.0%)	6 (33.3%)	3 (16.7%)	6 (33.3%)	3 (16.7%)
②6年が経過した日における病棟機能の予定	18	0 (0.0%)	5 (27.8%)	3 (16.7%)	6 (33.3%)	4 (22.2%)
③2025(平成37)年7月1日時点の機能(任意)	18	0 (0.0%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	2 (11.1%)	11 (61.1%)

②許可病床数・稼働病床数

		集計病棟数	病床数		
			合計	平均	最大
①一般病床	許可病床数	17	223	13.1	19
	稼働病床数	14	157	11.2	19
	非稼働病床数	3	66	-	19
②療養病床	許可病床数	8	97	12.1	19
	稼働病床数	7	89	12.7	19
	非稼働病床数	1	8	-	3

【許可病床数・稼働病床数（病院）（2015年7月1日現在）】

医療機関名	全体 (床)	高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休棟等	
		許可	稼働	許可	稼働	許可	稼働	許可	稼働	許可	稼働
市立宇和島病院	426	20	20	406	406	0	0	0	0	0	0
独立行政法人地域医療機能推進機構宇和島病院	199	0	0	101	90	98	96	0	0	0	0
医療法人沖繩徳洲会 宇和島徳洲会病院	300	0	0	133	133	28	28	108	108	31	0
医療法人鎌野病院	36	0	0	0	0	0	0	36	36	0	0
宇和島市立吉田病院	144	0	0	0	0	96	52	48	48	0	0
宇和島市立津島病院	133	0	0	88	60	0	0	45	45	0	0
旭川荘南愛媛病院	130	0	0	0	0	0	0	130	116	0	0
鬼北町立北宇和病院	100	0	0	55	48	0	0	45	37	0	0
愛南町国保一本松病院	60	0	0	0	0	0	0	60	58	0	0
愛媛県立南宇和病院	199	0	0	144	120	0	0	0	0	55	0
医療法人西本病院	38	0	0	38	38	0	0	0	0	0	0

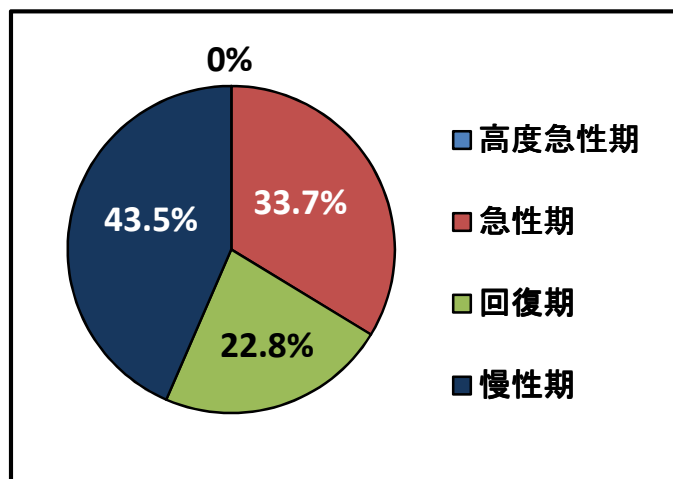
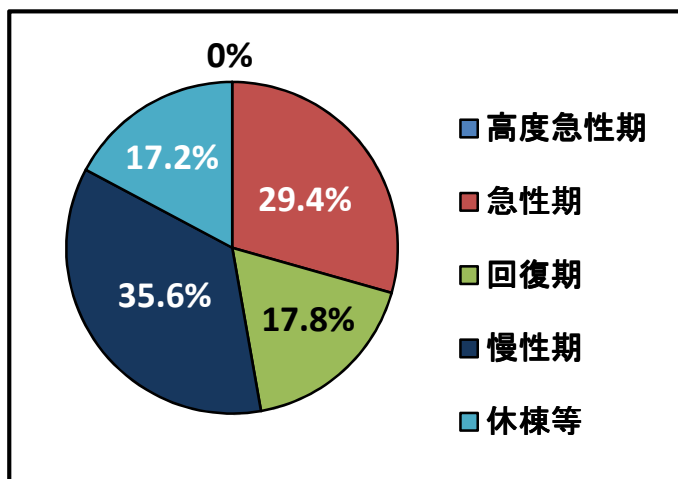


【許可病床数】

【稼働病床数】

【許可病床数・稼働病床数（有床診療所）（2015年7月1日現在）】

医療機関名	全体 (床)	高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休棟等	
		許可	稼働	許可	稼働	許可	稼働	許可	稼働	許可	稼働
医療法人木村内科医院	19	0	0	0	0	0	0	19	17	0	0
医療法人社団長野産婦人科	15	0	0	15	13	0	0	0	0	0	0
医療法人植木整形外科	19	0	0	0	0	0	0	19	16	0	0
医療法人友松外科・胃腸科	19	0	0	0	0	0	0	19	17	0	0
沖循環器科内科	19	0	0	0	0	19	18	0	0	0	0
加藤整形外科	19	0	0	19	19	0	0	0	0	0	0
岩村外科胃腸科	19	0	0	0	0	19	19	0	0	0	0
山内産婦人科医院	11	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0
山本内科医院	19	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0
上田小児科・外科	19	0	0	0	0	0	0	19	19	0	0
萩山医院 寿レディースクリニック	17	0	0	17	17	0	0	0	0	0	0
林整形外科クリニック	19	0	0	0	0	0	0	19	19	0	0
鈴木整形外科・外科	19	0	0	0	0	0	0	19	19	0	0
松野町国民健康保険 中央診療所	19	0	0	0	0	19	19	0	0	0	0
鬼北町国民健康保険 日吉診療所	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0
篠原医院	19	0	0	19	10	0	0	0	0	0	0
医療法人慈愛会伊藤医院	13	0	0	13	13	0	0	0	0	0	0
医療法人竹本医院	19	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0



【許可病床数】

【稼働病床数】

【病床の状況（病院）】

① 市立宇和島病院

(床)		施設全体	救命救急センター 高度急性期	4階西病棟 急性期	5階東病棟 急性期	5階西病棟 急性期	6階東病棟 急性期	6階西病棟 急性期
一般病床	許可	426	20	50	31	50	34	45
	稼働	426	20	50	31	50	34	45
				7階東病棟 急性期	7階西病棟 急性期	8階東病棟 急性期	8階西病棟 急性期	人間ドック 急性期
				48	48	45	47	8
				48	48	45	47	8

② 独立行政法人地域医療機能推進機構 宇和島病院

(床)		施設全体	西3階病棟 急性期	東3階病棟 急性期	西2階病棟 回復期	東2階病棟 回復期
一般病床	許可	199	53	48	54	44
	稼働	186	46	44	52	44

③ 医療法人沖繩徳洲会 宇和島徳洲会病院

(床)		施設全体	3階北病棟 急性期	3階南病棟 急性期	5階北病棟 急性期	6階南病棟 急性期	4階北病棟 慢性期	4階南病棟 慢性期
一般病床	許可	246	52	29	52	28	0	54
	稼働	215	52	29	52	28	0	54
療養病床	許可	54	0	0	0	0	54	0
	稼働	54	0	0	0	0	54	0
								5階南病棟 休棟中等
								31
								0
								0
								0

④ 医療法人鎌野病院

(床)		施設全体	療養病棟 慢性期
療養病床	許可	36	36
	稼働	36	36

⑤ 宇和島市立吉田病院

(床)		施設全体	第2病棟 回復期	第3病棟 慢性期
一般病床	許可	96	96	0
	稼働	52	52	0
療養病床	許可	48	0	48
	稼働	48	0	48

⑥ 宇和島市立津島病院

(床)		施設全体	第2病棟 急性期	第1病棟 慢性期
一般病床	許可	88	88	0
	稼働	60	60	0
療養病床	許可	45	0	45
	稼働	45	0	45

⑦ 旭川荘南愛媛病院

(床)		施設全体	一般病棟 慢性期	こすもす病棟 慢性期	あさがお病棟 慢性期
一般病床	許可	130	50	40	40
	稼働	116	37	40	39

⑧ 鬼北町立北宇和病院

(床)		施設全体	一般病棟 急性期	療養病棟 慢性期
一般病床	許可	55	55	0
	稼働	48	48	0
療養病床	許可	45	0	45
	稼働	37	0	37

⑨ 愛南町国保一本松病院

(床)		施設全体	東南病棟 慢性期
療養病床	許可	60 (うち医療療養病床 60)	60 (うち医療療養病床 60)
	稼働	58 (うち医療療養病床 58)	58 (うち医療療養病床 58)

⑩ 愛媛県立南宇和病院

(床)		施設全体	3階西病棟 急性期	4階東病棟 急性期	4階西病棟 急性期	3階東病棟 休棟中等
一般病床	許可	199	46	49	49	55
	稼働	120	40	40	40	0

⑪ 医療法人西本病院

(床)		施設全体	一般病床 急性期
一般病床	許可	38	38
	稼働	38	38

【病床の状況（有床診療所）】

医療機関名	施設全体 (床)	一般病床		療養病床	
		許可	稼働	許可	稼働
医療法人木村内科医院	19	19	17	—	—
医療法人社団長野産婦人科	15	15	13	—	—
医療法人植木整形外科	19	1	1	18	15
医療法人友松外科・胃腸科	19	7	7	12 (うち医療療 養病床12)	10 (うち医療療 養病床10)
沖循環器科内科	19	19	18	—	—
加藤整形外科	19	7	7	12 (うち医療療 養病床12)	12 (うち医療療 養病床12)
岩村外科胃腸科	19	19	19	—	—
山内産婦人科医院	11	11	11	—	—
山本内科医院	19	19	0	—	—
上田小児科・外科	19	1	1	18 (うち医療療 養病床12) (うち介護療 養病床6)	18 (うち医療療 養病床12) (うち介護療 養病床6)
萩山医院 寿レディースクリニック	17	17 (うち医療法 上の経過措置 病床数17)	17	—	—
林整形外科クリニック	19	—	—	19 (うち医療療 養病床19)	19 (うち医療療 養病床19)
鈴木整形外科・外科	19	8	8	11 (うち医療療 養病床11)	11 (うち医療療 養病床11)
松野町国民健康保険 中央診療所	19	15	15	4 (うち医療療 養病床4)	4 (うち医療療 養病床4)
鬼北町国民健康保険 日吉診療所	14	14	0	3 (うち医療療 養病床3)	0
篠原医院	19	19	10	—	—
医療法人慈愛会伊藤医院	13	13	13	—	—
医療法人竹本医院	19	19 (うち医療法 上の経過措置 病床数2)	0	—	—

3 救急医療分科会について

(1) 宇和島地区救急医療意見交換会の開催

各救急告示病院及び宇和島医師会から、救急医療の現状と課題の報告の後、今後の宇和島地区の救急医療体制等について意見交換。

また、平成14年から休止状態である「宇和島地区救急医療対策協議会」の再開及び今後の開催に向けた意見交換。

開催日時	平成28年7月11日（月曜日）午後6時00分から
出席者	委員5名（友松・梶原・渡部・池田・廣瀬）及び随行者6名 宇和島市2名、事務局4名
議題	(1) 宇和島地区の救急医療の現状と課題について (2) 宇和島地区救急医療対策協議会について

(2) 主な意見等

[宇和島地区の救急医療]

- ①地域住民に宇和島地区の救急医療の厳しい現状が認識されていない。
- ②軽症者の診療時間外の受診が多い。
- ③救急医療を維持するため、適正受診を広報等する必要がある。
- ④二次救急は、2病院の病院群輪番制になっているが、十分に機能していない。
- ⑤市立宇和島病院では、休日に電話連絡があった場合には、宇和島医師会の休日在宅当番医を紹介している。

[宇和島地区救急医療対策協議会]

- ①救急医療の現状や課題について、年に1～2回の話し合いは必要である。
- ②宇和島地区は、宇和島市、鬼北町、松野町と広域に及ぶため、再開にあたっては、どこが所管するかの検討が必要である。

(3) 宇和島地区救急医療体制等の検討について

- ①宇和島地区の二次救急の病院群輪番制に昨年、救急告示された宇和島徳洲会病院を加え、3病院（市立宇和島、JCHO宇和島、宇和島徳洲会）による新体制について検討する。
- ②宇和島地区救急医療対策協議会の再開（規約・理事の見直し、負担金の予算化等）について検討する。
- ③地域住民への適正受診や救急医療等の周知について検討する。

愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議設置要綱

(設置)

第1条 宇和島構想区域の医療提供体制を確保することを目的に、宇和島構想区域における地域医療構想の策定及び実現に向けた関係者との協議及び調整等を行うため、愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議（以下「調整会議」という。）を設置する。

(任務)

第2条 調整会議では、次に掲げる事項について協議及び調整等を行う。

- (1) 地域医療構想の策定及び実現に関する事項
- (2) 構想区域内における医療提供体制の課題に関する事項
- (3) 医療計画に関する事項
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 調整会議は、委員20人以内で組織し、委員は、各構想区域名において次に掲げる者のうちから愛媛県南予地方局長が委嘱し、又は任命する。

- 一 郡市医師会の代表者
 - 二 歯科医師会の代表者
 - 三 薬剤師会の代表者
 - 四 看護関係者の代表者
 - 五 介護関係者の代表者
 - 六 医療機関の代表者
 - 七 保険者の代表者
 - 八 市町の代表者
 - 九 宇和島保健所長
 - 十 その他議長が必要と認めた者
- 2 調整会議に議長を置き、委員の互選によりこれを定める。
 - 3 議長は、調整会議を代表し、会務を総理する。
 - 4 議長は、あらかじめ副議長を指名することとし、必要に応じて副議長がその職務を代行する。

(任期)

第4条 調整会議の委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 調整会議は、議長が必要の都度招集し、これを主宰する。

- 2 議長は、必要に応じて調整会議に委員以外の者を出席させることができる。
- 3 議長は、必要に応じてワーキンググループを設置し、意見を聞くことができる。

(事務局)

第6条 調整会議の事務局は、愛媛県宇和島保健所企画課に置く。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、調整会議の運営に関し必要な事項は、愛媛県南予地方局長が別に定める。

附則

この要綱は、平成27年6月12日から施行する。

附則

この要綱は、平成28年6月28日から施行する。